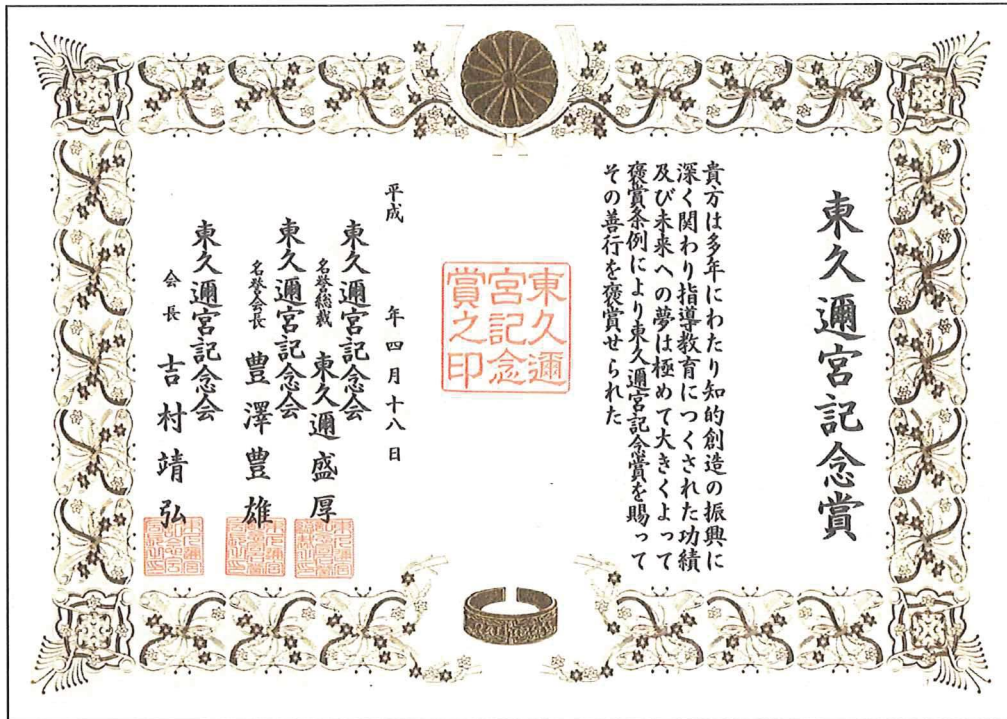


# 東久邇宮記念賞の由来とご案内



昭和天皇の女嬬であられる東久邇宮盛厚殿下の発明哲学は「発明には上下の貴賤はない。小発明ほど尊い、ノーベル賞を百とるより、国民一人一人の小発明が大切だ。うまいミソ汁を考えた人には文化勲章を与えよ」といわれて、我々の名誉総裁になってくれた。晩年、病にたおられたとき、会長だった私を招いて、「わが家の名と財産を使ってよいから、文化の発展につくした方に皇族賞を出して、顕彰してほしい」と。この記念賞は、その遺言によって生まれたのである。したがって、名誉顧問には、総裁の夫人である東久邇宮佳子様がなられている。高松の宮賞、秩父の宮賞と共に三大様賞として親しまれている。

平成9年11月  
豊澤 豊雄 謹記



豊澤豊雄名誉会長（左）と東久邇盛厚殿下（右）



東久邇佳子様を囲む会 平成19年10月 京都萬重にて

大衆発明生みの親、豊澤豊雄名誉会長と  
大衆発明を奨励された東久邇宮盛厚殿下を称える

## 東久邇宮記念会

特定非営利活動法人発明知的財産研究会